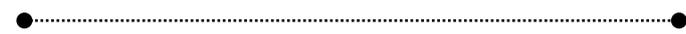


平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	赤ちゃん先生プロジェクト
事業主体 (連絡先)	認定特定非営利活動法人長野サマライズ・センター (0263-52-4148、sama4089@yahoo.co.jp)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,816,560円 (うち支援金: 1,453,000円)



事業内容

- 1 出産を機に引きこもりがちになってしまった母親や障がい児を持つ母親の社会参画。
- 2 ママ講師やリーダーを発掘し育成し研修を終えた
ママ講師・赤ちゃん先生を、教育機関に派遣し命の教育や感謝の気持ちを持てる授業を展開。またキャリアデザインをリアルに考える授業を行う。
- 3 誰でも参加できるような事業展開をして、母親の孤立を防ぎ、子育てのしやすい環境を創る。



【目標・ねらい】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① マスコミ掲載やテレビ取材がされた。
- ② 新たに赤ちゃん先生授業の開催の場が増え、メンバーも増加した。
- ③ 母親が活動を通して居場所や社会との繋がりに気づき自らの子育てにも自信がついた。
- ④ 手話講座など母親が自ら参加する気持ちが芽生え、今後幅広い活動につながる期待が生まれた。

- ① 全県に赤ちゃん先生を PR
 - ② 新規赤ちゃん先生の育成
 - ③ 開催数の増加
 - ④ 障がい児のママの参加
 - ⑤ 地域の企業や行政と繋がること

※自己評価 【 B 】

【理由】障がい児を持つ母親の参加申し出もあり、只今接触中であるが活動参加は来年度になるという理由。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

助成金の開催により開催学校が増えた。また協力してくださる企業様も増加傾向にある。今後は開催学校、企業とともに増やしていくことで、母親の活動参加の場も増える。障がい児も健常児もより参加しやすい場としていき、地域での繋がりも強くしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある